

たらしいなと思います。
深澤 若い人に鳥取でこれからも住み続けて活躍していただくには、雇用の場をつくることはもちろんですが、「このまちに住んでみたい」、そういう魅力が感じられるまちになっていく必要があると、一番大切な部分ではないかと思いました。



できたらいいと思いますし、従来の道の駅も、どういった機能を追加したらいいかを、地域のみなさんと考えていきたいと思っています。
上山 私は高校生と何かコラボできないかなと考えています。若い柔軟な考え方は、これからの行政、団体の中で活動していく中で大事なことで、自分たちの意見が取り入れられた、認められたことは自信につながると思います。

活性化をさせる、まちとむらの交流をもっと盛んにしていく必要があるか、前田さん、お考えがありましたらお願いします。
前田 鳥取市全体に言える課題だと思いますが、交通、地域の買物、高齢化に伴う農地の管理、鳥獣被害、除雪など、高齢者には大変な問題です。まちづくりは、地域で考え、知恵を出し、行動することが必要です。行政に「何かしてくれ」と言っても、何を提供しているかわからないので、「これらで困っているのを補助制度を創設して」と地域から提言していくことが必要なことだと思います。日ごろから地域が好き、地域を守って行くと、絶えず危機感を持ってもらうことが振興につながるのではないかと思います。

もう1つ関心があるのが、6次産業（※）の注2化。自然とか、

観光や地域づくりには、コーディネートする人や団体が必要だと思えます。観光客が来られたら、「ようこそいらっしゃいました」と言っておもてなしの心を持つような意識改革を進めていきたい、自分たちの地域でそういう機会をあげていくことが必要になると思えます。自分たちができることをして、足りないところはアドバイスや助成をいただきながら頑張っていくという気持ちになれる取り組みをしていきたいと思っています。
 今年は幼小中の一貫校を具体化していく年です。みんなに誇れるような学校を作っていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。
深澤 地域から少しずつ意識を変えて取り組みを進めていくお話をいただきました。人は一番大切な

地域の利を活かした農産物、米、二十世紀梨、ラッキョウ、生姜、白ネギとか、いろんな特産品があるわけですが、付加価値をつけて販売するということを広げてほしいと思います。

（※注2）第6次産業：農・畜・水産物の生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）、流通・販売（第3次産業）にも農業者が主体かつ総合的に関わり、今まで第2次・第3次産業の事業者が得ていた付加価値を、農業者自身が得ることで農業を活性化させるもの。

これからのまちづくりへの思い

長尾 道の駅を玄関口として、地方創生の小さな拠点にならないか
深澤 農産物の高付加価値化やブランド化、自分たちで提案していくというお話をいただきました。地域の特性・特色を活かしたまちづくりを求めて、地方から提案をしていくことが必要です。また、公共交通の維持確保、買い物がない、鳥獣被害などがあります。地域のみなさんのアイデアを活かしながら問題に対応することで、中山間地域が活力のある地域として発展していくのではないかと思います。

資源であると思いますので、若い方の意見を十分取り入れていくことができる仕組みもこれから作っていくかなければならないと思えます。
前田 中山間地域での高齢者の見守りは充実してきていますが、密度の濃い高齢者の安否確認をするためにも、全市で買い物支援事業に取り組むことが必要です。また、買い物支援のときに困りごとや悩みごとを受け、それを受けた職員は行政や区長に伝える。行政の手の届かない部分の取り組みの必要性を私は感じていますし、より一層取り組んでいく必要があるという思いを持っています。

深澤 これから高齢化がますます進んでいく中で、高齢者の見守り、声かけをした

でもお話をしただけ環境が求められて



と考えます。道の駅が生活基盤の「守りの砦」として、地域住民の方々が中心になって運営し、これからはこの拠点が、地域経済活性化の「攻めの砦」であつてもいいと思います。官と民が連携する場所でもあるし、人を呼び込むことで、いろんな産業をもう一度掘り起こして、雇用の創造をつくっていくことができるのではないかと、鳥取市ができるのではないかと、みなさんのお話も聞きながら考えていました。面白いアイデアかと思いますがどうでしょう。

深澤 各地に道の駅があります。従来の機能だけではなく、地域振興拠点、観光や防災の機能を付加して、守り、攻めの砦として整備をしていく動きがあります。これから整備を計画している西道路の道の駅を、そういうふうで整備



いると思います。また、買い物支援についても、全市的に広げていく必要があると思いますし、何か困りごと、悩みごとがある方の相談支援体制も、これから高齢社会が到来するにあたって考えていかなければならない部分かと思えました。

中野 魅力ある鳥取市をつくるため、夢のある前向きなお話をみなさまからいただきましたが、最後に市長、感想をお願いします。
深澤 みなさんからお話をいただきましたが、これからの市政に反映させていきたいと思えますし、今こそ鳥取市から地域創生を実行していきたいと改めて感じました。鳥取市のすばらしい資源を活かして、市民のみなさんと一緒に、自信と誇り、夢と希望に満ちたまちづくりを進めていきたいと思えます。今日は本当にありがとうございました。

※座談会の内容は要約しています。

座談会の模様は、いなびりよんぴんネット(12ch)で放送します。
 ▼日時：1月1日(木)～3日(土) 6:00～、14:00～、17:00～ほか